



歩こうかい 10月例会(通算 386回)



中山道をあるく ⑤

今須宿～関ヶ原宿

2023年10月11日(水)

天気:晴れ ・参加者 15名 <14,000歩>

JR 関ヶ原駅 == 今須宿問屋場跡・・・妙応寺・・・青坂神社・・・今須の一里塚跡・・・今須峠・・・常盤御前の墓・・・自害峰の三本杉・・・
矢尻の井・・・不破関跡・・・不破関資料館・・・福島正則の墓・月見宮大杉・・・アサギマダラ飛来地・・・関ヶ原古戦場記念館・・・JR 関ヶ原駅

前日まで続いた雨は夜半過ぎには上がり、朝から青空が広がる絶好のウォーキング日和。スタート地点は前回と同じだが中山道を反対方向に歩くコースで、先月も参加いただいた「るるぶ鮎サロン」の村古さん、富田さん、初参加の今井さんを紹介の後、コミュニティーバスとタクシー2台で今須宿へ。美濃16宿の中で唯一現存している問屋場跡に立ち寄り、その後古刹・妙応寺を参拝。妙応寺は岐阜県で最も古い曹洞宗寺院で、小高い山を背にして建つ本堂と、並ぶ石灯笼の全景が美しい。集合写真を撮り、約4Km先の関ヶ原宿を目指し出発。



今須宿の石碑と案内版



問屋場跡



問屋場跡の軒丸瓦



妙応寺

のどかな風景の中山道を、会話を楽しみながら進み、徳川家康が腰掛けたと言われる石がある青坂(せいばん)神社、木々に覆われた緩やかな坂の今須峠を経てしばらく歩くと、東国に走った牛若(源義経)を追う途中、盗賊に襲われ息を引き取ったと言われる常盤御前の墓に着く。気温が上がり、墓前の広場でしばらく休憩する。



常盤御前の墓



汗ばんだ身体に水分補給

さらに進み、壬申の乱(672年)で破れ自害した大友皇子の頭が葬られていると伝えられている三本杉に立ち寄り、水を求めて大友皇子軍の兵士が矢尻で掘ったと言われる矢尻の井を経て不破関跡へ。

東山道(とうさんどう)の美濃不破関は、東海道の伊勢鈴鹿関、北陸道の越前愛発関(あらちのせき)とともに、古代律令制下の三関の一つとして、壬申の乱後に設けられたとされている。

不破関跡資料館前の広場で昼食を取り、関ヶ原合戦の舞台となった関ヶ原宿へ。



自害峰の三本杉



不破関跡



昼食風景

東軍(徳川軍)で戦った福島正則の陣が置かれた春日神社の境内には巨木・月見宮大杉があり、ご神木の厳かさを感じさせてくれる。樹齢 800 年と言われる大杉は関ヶ原天然記念物に指定されている。



福島正則陣跡の案内版



春日神社・月見宮大杉

20 分程歩いて関ヶ原合戦開戦地近くの花畑へ。フジバカマは最盛期前なのか、昨年に比べ飛来数は少ないようだが、飛び回るアサギマダラをカメラで追いかけて、古戦場記念別館のレストランでスイーツを楽しみながら歓談の後 14 時頃解散する。

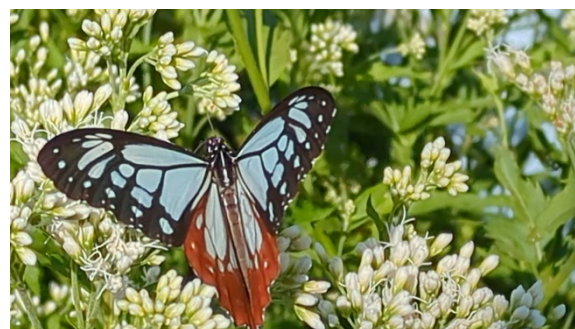
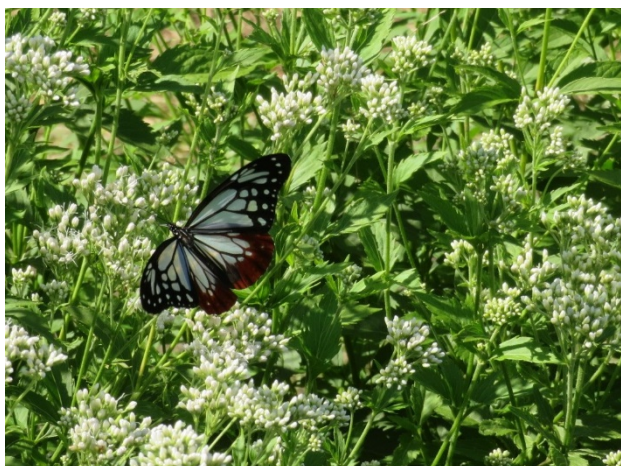
記:奥村正忠



コスモス畑



フジバカマ畑



アサギマダラ